

令和4年度 予算、機構・定員(案)について

令和3年12月

金融庁



令和4年度 予算(案)について

○ 令和4年度においても、金融行政の的確な実施のために必要な予算を計上。

<全体>

◆ 総 額 約226億円 (対前年度+1.0億円)

うち、人件費 約186億円(構成比82%) (対前年度▲1.3億円)、物件費 約40億円(構成比18%) (対前年度+2.3億円)

<主な政策的経費>

◆ **新型コロナウイルス感染症を克服する** (約2.5億円)

- ー 地域経済再生のための力強い事業再生支援の促進等
- ー 金融機関に対するモニタリング高度化等

◆ **デジタル・イノベーションと利用者目線に立った金融サービスの推進** (約1.9億円)

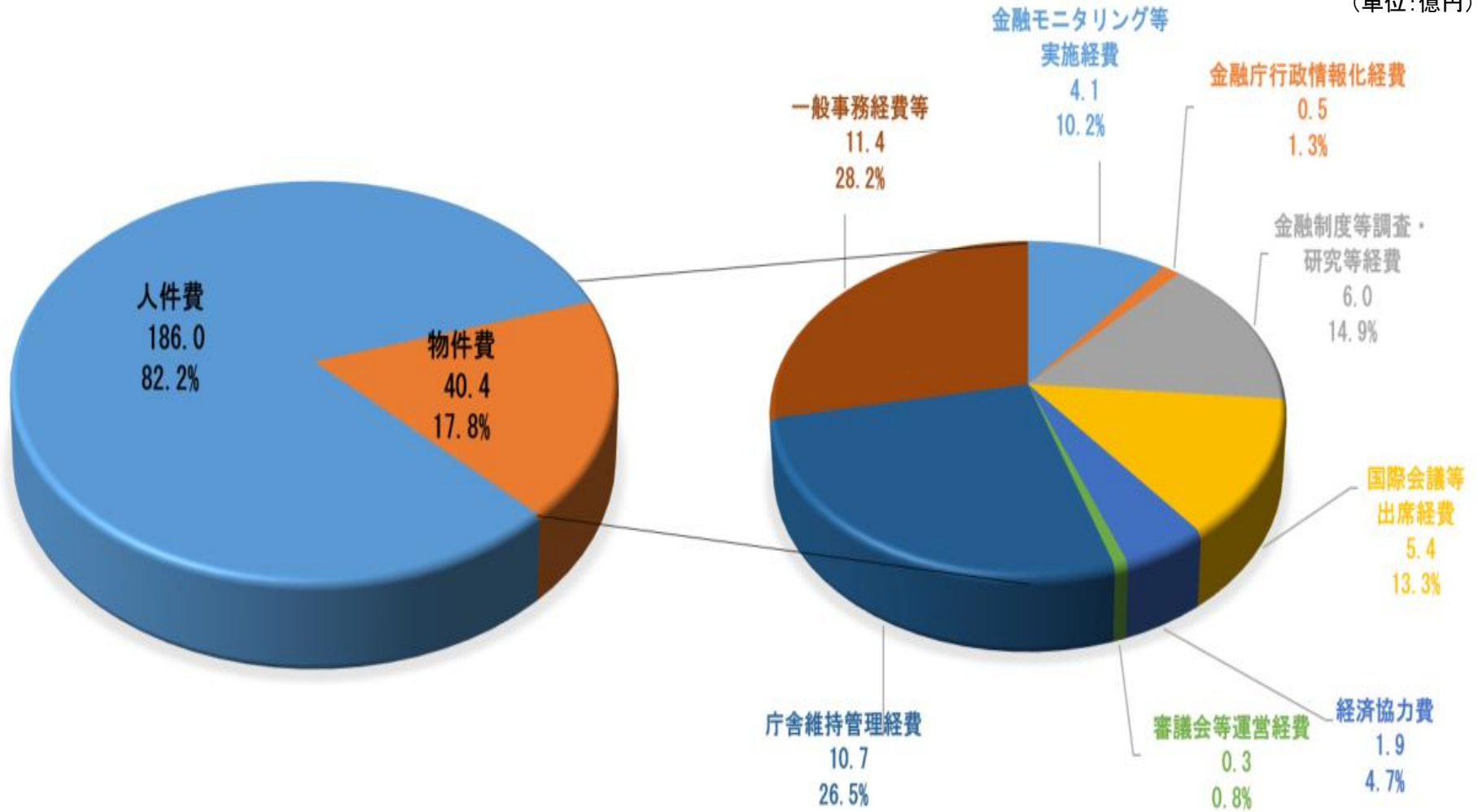
- ー デジタル・イノベーションの推進
- ー 利用者目線に立った金融サービスの普及

◆ **世界に開かれた国際金融市場を確立する** (約1.7億円)

- ー 海外事業者や高度外国人材のための環境整備
- ー 資本市場の活性化と成長資金の円滑な供給
- ー サステナブルファイナンスの推進

令和4年度予算(案) : 226.4億円(対前年度+1.0億円)

(単位:億円)



(注1) 「金融庁行政情報化経費」は、デジタル庁から要求される情報システム関連予算を除いたものである。

(注2) 上記のほか、令和3年度補正予算(第1号)として「地域金融機関等による人材マッチング等支援」など、24.6億円を計上。

(注3) 政府保証枠については、金融システムの安定を引き続き揺るぎないものとするとの考え方にに基づき、預金保険機構に係る政府保証枠72兆円等を計上。

令和4年度 機構・定員について

○金融行政を巡る足下の状況に的確に対応する観点から、以下の機構・定員が認められた。

以下の施策に係るものとして29人の増員(定員合理化等▲17人)⇒差引12人純増

◆ 新型コロナウイルス感染症を克服する (3人)

- ー 地域経済再生のための取組み(監督企画官(人材仲介機能強化担当)の設置) 等

◆ デジタル・イノベーションと利用者目線に立った金融サービスの推進 (4人)

- ー 金融サービス仲介業者の監督のための体制整備
- ー 大手資金決済業者に対する検査・監督体制の整備
- ー 金融デジタルイノベーションの推進のための体制整備

◆ 世界に開かれた国際金融市場を確立する (18人)

- ー 海外事業者や高度外国人材のための環境整備(国際証券検査室の設置)
- ー サステナブルファイナンスの推進
- ー マネロン・テロ資金供与対策のための体制整備
- ー 金融分野における経済安全保障体制の強化に向けた体制整備(経済安全保障室の設置)

等

このほか、ワークライフバランス推進(4人)